

「要件」欄：J:必須、K:原則必須、L:望ましい、-:要件に該当なし、別紙及びその他について「O」:提出必要

項目	要件	熊本中央	熊本再春医療センター	熊本総合病院	国保水俣市立総合医療センター	天草地域医療センター	天草中央総合	熊本地域医療センター	くまもと森部総合病院	大牟田門部センター高野病院	山鹿市民医療センター	熊本南病院	阿蘇医療センター
イ 専任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の薬剤師を1人以上配置している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
薬物療法に携わる専任常勤薬剤師の人数	J	1	1	3	1	1	5	7	3	1	1	1	1
当該薬剤師は一般社団法人日本医療薬学会が認定を行うがん専門薬剤師、一般社団法人日本病院薬剤師会が認定するがん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師である。	L	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ
日本医療薬学会が認定を行うがん専門薬剤師の人数	L	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本病院薬剤師会が認定するがん薬物療法認定薬剤師の人数	L	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
外来化学療法室に、専任の薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師を1人以上配置している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
外来化学療法室の専任常勤看護師の人数	J	3	1	3	2	2	3	13	4	1	2	1	1
うち専従の人数	L	3	1	1	2	1	0	0	2	1	1	1	0
当該看護師について公益社団法人日本看護協会が認定を行うがん看護専門看護師又はがん化学療法看護認定看護師である。	L	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい
公益社団法人日本看護協会が認定を行うがん看護専門看護師の人数	L	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公益社団法人日本看護協会が認定を行うがん化学療法看護認定看護師の人数	L	1	1	1	0	1	1	1	1	1	2	0	1
ウ 緩和ケアチームに、専任の緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の看護師を1人以上配置している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
緩和ケアに携わる専任常勤看護師の人数	J	1	1	4	1	1	1	10	1	1	1	2	2
うち専従の人数	L	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
当該看護師は公益社団法人日本看護協会が認定を行うがん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師のいずれかである。	L	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	いいえ
公益社団法人日本看護協会が認定を行うがん看護専門看護師の人数	L	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公益社団法人日本看護協会が認定を行う緩和ケア認定看護師の人数	L	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	2	0
公益社団法人日本看護協会が認定を行うがん性疼痛看護認定看護師の人数	L	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の資格の場合、専門資格と人数を記載すること。	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケアチームに協力する薬剤師を1人以上配置している。	L	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
緩和ケアチームに協力する薬剤師の人数	L	1	1	3	1	1	2	2	1	2	1	1	4
当該薬剤師は一般社団法人日本緩和医療薬学会が認定する緩和薬物療法認定薬剤師である。	L	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
緩和薬物療法認定薬剤師の人数	L	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケアチームに協力する医療心理に携わる者を1人以上配置している。	L	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ
緩和ケアチームに協力する医療心理に携わる者の人数	L	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
当該医療心理士に携わる者は公認心理師である。	-	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
公認心理士の人数	-	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
当該医療心理に携わる者は公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が認定する臨床心理士である。	L	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
臨床心理士の人数	L	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他の資格の場合、専門資格と人数を記載すること。	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケアチームに協力する相談支援に携わる者の人数。	-	1	1	3	5	8	0	4	5	1	1	1	1
当該相談支援に携わる者については社会福祉士である。	-	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	はい
上記人数	-	1	1	3	5	2	0	3	3	1	1	1	1
当該相談支援に携わる者については精神保健福祉士である。	-	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ
上記人数	-	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0
その他の資格の場合、専門資格と人数を記載すること。	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エ 専任の細胞診断に係る業務に携わる者を1人以上配置している。	L	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	はい	いいえ	はい	はい
専任の細胞診断に係る業務に携わる者の人数	L	3	2	5	1	3	2	0	4	1	0	1	1
うち常勤の人数	-	3	2	5	1	3	1	0	4	1	0	1	1
うち専従の人数	-	3	0	2	1	3	1	0	4	0	0	0	0
当該者は公益社団法人日本臨床細胞学会が認定を行う細胞検査士である。	L	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	いいえ	はい	はい
細胞検査士の人数	L	6	2	2	1	2	2	0	4	2	0	1	1
その他の資格の場合、専門資格と人数を記載すること。	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③ その他													
ア がん患者の状態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、各診療科の医師における情報交換・連携を恒常的に推進する観点から、各診療科を包含する居室等を設置している。	L	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
イ 拠点病院の長は、当該拠点病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。 ※当該評価に当たっては、手術・放射線治療・化学療法の治療件数(放射線治療・化学療法については、入院・外来ごと)に評価することが望ましい。)、紹介されたがん患者数その他診療連携の実績、論文の発表実績、研修会・日常診療を通じた指導実績、研修会・学会等への参加実績等を参考とする。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
(3) 医療施設													
① 専門的ながん医療を提供するための治療機器及び治療室等の設置													
ア リニアックなど、体外照射を行うための放射線治療に関する機器を設置しているか、他の医療機関から協力が得られる体制がある。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
イ 外来化学療法室を設置している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
ウ 白血病を専門とする分野に携わっている。	J	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
無菌病室を設置している。	J	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
エ 集中治療室を設置している。	L	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
オ 術中迅速病理診断を含めた病理診断が実施可能である病理診断室を設置している。	L	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	はい
カ 病棟・外来、イに規定する外来化学療法室等に、集学的治療等の内容や治療前後の生活における注意点などに関して、冊子や視聴覚教材などを用いてがん患者及びその家族が自主的に確認できる環境を整備している。	L	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
キ がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場を設けている。	L	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
② 敷地内禁煙等													
ア 敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
イ 敷地内は全面禁煙である。	-	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい
ウ 禁煙外来を実施している。	-	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	はい	はい	はい	いいえ	はい	いいえ	はい
③ その他													
ア がん診療を統括する診療部(がん診療部、腫瘍センターなど)が設置されている。	-	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ
イ がんの治療に際する妊娠性温存目的で精子保存を行った患者の人数(平成30年1月1日～12月31日)	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウ がんの治療に際する妊娠性温存目的で未受精卵、受精卵(胚)、あるいは、卵巣組織の凍結保存を行った患者の人数(平成30年1月1日～12月31日)	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エ がんの治療に際する妊娠性温存のための処置が必要な患者のために 妊娠性温存治療ができる他の施設へ紹介した患者の人数(平成30年1月1日～12月31日)	-	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0
オ 院内学級を開催している(院内学級とは、ここでは院内に設置された小・中学特別支援学級、特別支援学校を指す)。	-	はい	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
カ 小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に整備している。	-	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
キ 小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院外に整備している。	-	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
ク 小児がん患者と家族が利用できる院外の最寄宿泊施設から自施設までの移動時間。	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 診療実績													
(1) 年間症例数													
年間入院がん患者数(延べ人数)が、我が国に多いがん(その他各医療機関が専門とするがん)について300人以上又は我が国に多いがんについて200人以上である。ただし拠点病院がない空白の2次医療圏にあってはこの限りではないが、当該要件を満たすことができよう努めるものとする。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
年間入院がん患者数(平成30年1月1日～12月31日)	J	25,429	6,622	2,372	1,072	650	574	1,314	2,576	935	473	506	82
院内がん登録数(入院、外来は問わない)施設初回治療分:症例区分2および3(平成29年1月1日～12月31日)	-	890	151	661	361	317	122	480	751	251	235	73	0
悪性腫瘍の手術件数(平成30年1月1日～12月31日)	-	870	95	487	265	281	88	196	490	154	95	23	0
がんに係る化学療法の実患者数(平成30年1月1日～12月31日)	-	2,096	1,038	1,925	998	760	1,081	165	5,399	576	80	733	197
放射線治療機器を設置している病院にあっては、放射線治療の実患者数(平成30年1月1日～12月31日)	-	277	2,787	81	0	0	74	0	0	0	0	0	0
(2) 各治療の状況について													
① 麻酔及び手術等の状況(平成30年1月1日～12月31日)													
我が国に多いがんに関する悪性腫瘍の手術件数													
ア 肺がん(C34、D02.2)の手術件数													
開胸手術 K511、K514、K518		0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
胸腔鏡下手術 K514-2		145	50	14	1	12	4	9	0	0	3	2	0
イ 胃がん(C16、D00.2)の手術件数													
開腹手術 K654-2、K6552、K655-42、K6572		8	3	23	8	7	10	17	2	4	6	2	0
腹腔鏡下手術 K654-3、K655-22、K657-22		17	4	12	6	16	1	9	0	0	1	1	0
内視鏡手術 粘膜切除術(EMR)K6531		0	0	0	0	14	0	7	0	0	0	0	0
内視鏡手術 粘膜下層剥離術(ESD)K6532		38	0	23	5	22	0	26	1	5	17	0	0
ウ 大腸がん(C18、C19、C20、D01.0、D01.1、D01.2)の手術件数													
開腹手術 K7193、K739\$、K740\$		16	1	35	16	28	4	12	7	58	5	6	0
腹腔鏡下手術 K719-3、K740-2\$		66	19	37	3	49	2	47	4	81	14	0	0
内視鏡手術 K721\$、K721-2\$、K721-4、K739-2、K739-3		14	12	21	13	635	98	291	8	99	5	3	0

項目	要件	熊本中	熊本再	熊本総	国保水	天草地域	天草中	熊本地	くまもと	大曲紅	山鹿市民	熊本南	阿蘇医療
		央	春医	合病	保水保	医療	中央	域医	と森	門門	市民	南病	蘇医
エ 肝臓がん(C22\$, D01.5)の手術件数													
開腹手術 K695\$		8	1	13	4	5	0	11	4	10	15	0	0
腹腔鏡下手術 K695-2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0
マイクロ波凝固法 K697-2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0
ラジオ波焼灼療法 K697-3		2	1	6	0	0	0	5	23	0	17	0	0
オ 乳がん(C50\$, D05\$)の手術件数													
手術 K476\$		40	4	21	25	12	35	3	387	0	2	7	0
乳癌冷凍凝固摘出術 K475-2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳腺腫瘍摘出術(生検) K474\$		0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 K474-3		3	0	0	0	47	0	0	0	0	0	0	0
乳房再建術(乳房切除後) 二期的に行うもの K476-32		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ク 放射線治療の状況													
※以下、放射線治療件数に関する項目は、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記入すること。													
ア 全てのがんを対象としたべ患者数 (平成30年1月1日～12月31日の間に放射線治療を開始した患者数)													
体外照射		229	2,787	81	40	0	74	43	0	5	0	0	0
そのうち特殊なもの		21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定位照射(脳)		0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0
定位照射(体幹部)		0	0	0	0	0	0	6	0	5	0	0	0
強度変調放射線治療(IMRT)		0	0	0	0	0	0	7	0	1	0	0	0
粒子線治療(重粒子線、陽子線治療)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
密封小線源治療		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
核医学治療		2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イ 我が国に多いがんを対象としたべ患者数 (平成30年1月1日～12月31日の間に放射線治療を開始した患者数)													
※原発風に記載してください。													
肺がん		80	28	0	6	0	10	27	0	0	0	0	0
胃がん		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
肝がん		0	0	5	1	0	2	4	0	0	0	0	0
大腸がん		2	2	4	1	0	2	1	0	0	0	0	0
乳がん		114	5	28	13	0	39	3	0	0	0	0	0
ク 緩和ケアチームに対する新規診療症例の状況(重複可)													
ア 身体症状の緩和を行った症例数		99	0	20	51	24	35	45	142	13	48	34	0
イ 精神症状の緩和を行った症例数		148	0	7	18	11	1	15	26	2	20	0	0
ウ 社会的苦痛に対する緩和を行った症例数		97	0	12	1	11	0	20	32	6	10	0	0
3 研修の実施体制													
(1) 「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針(平成29年12月1日付健康1201第2号厚生労働省健康局長通知の別添)」に準拠し、当該医療圏においてがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を、県と協議の上、開催している。													
	L	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	いいえ
自施設に所属する臨床研修医及び1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師が当該研修を修了する体制を整備し、受講率を現況報告において報告している。	L	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ
医師・歯科医師と協働し、緩和ケアに従事するその他の診療従事者についても受講を促している。	L	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
研修修了者について、患者とその家族に対して分かりやすく情報提供している。	L	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
ア 自施設に所属する臨床研修医の人数	－	14	1	3	5	7	0	1	5	0	0	0	0
うち研修会修了者数		0	0	0	1	7	0	0	0	0	0	0	0
受講率	－	0.0	0.0	0.0	20.0	100.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
イ 1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師の人数	－	30	10	51	24	11	8	20	23	7	28	10	6
うち当該研修会修了者数	－	28	10	32	19	6	5	20	16	7	17	10	3
受講率	－	93.3	100.0	62.7	79.2	54.5	62.5	100.0	69.6	100.0	60.7	100.0	50.0
ウ 病院長は緩和ケア研修を修了している。	－	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
(2) 連携する地域の医療施設におけるがん診療に携わる医師に対して、緩和ケアに関する研修の受講勧奨を行っている。	L	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	いいえ
(3) (1)のほか、原則として当該2次医療圏においてがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断、副作用対応を含めた放射線治療・薬物療法等の推進および緩和ケア等に関する研修を実施している。	K	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ
① 当該研修については、実地での研修を行うなど、その内容を工夫している。	－	いいえ	はい	はい	いいえ	はい	いいえ	いいえ	はい	はい	いいえ	はい	いいえ
② 該当する研修の実施案内においてHPに掲載している。	－	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	はい	いいえ	はい	いいえ
(4) 診療連携を行っている地域の医療機関等の診療従事者も参加するセミナー等の合同のカンファレンスを毎年定期的に開催している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
(5) 院内の看護師を対象として、がん看護に関する総合的な研修を定期的に実施している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
(6) 歯科連携による口腔健康推進のために、歯科医師等を対象として、がん患者の口腔健康管理等の研修の実施に協力している。	L	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
診療従事者に対してがん告知や余命告知等を行う際のコミュニケーション研修を1年に最低1回でも実施している。	－	はい	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	いいえ
がん告知や余命告知等を行う際のコミュニケーションに関するマニュアルがある。	－	はい	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	いいえ
4 情報の収集提供体制													
(1) 相談支援センター													
相談支援を行う機能を有する部門(以下「相談支援センター」という)を設置している。													
	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
相談支援センターは病院固有の名称との併記を認めた上で、「がん相談支援センター」と表記している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
院内の見やすい場所に相談支援センターによる相談支援を受けられる旨の掲示をするなど、相談支援センターについて積極的に周知している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
相談支援センターについてHPに掲載している。	－	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ
① 当該部門に専任の相談支援に携わる者を1人以上配置している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
相談支援に携わる専任の人数	J	1	7	4	1	2	4	3	3	1	1	1	3
専従の人数	L	1	0	1	0	1	2	0	0	0	0	1	0
当該相談員に携わる者は、以下の i または ii を満たすこと	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
i がん対策情報センターによる「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)～(3)の修了者数	K	5	3	2	0	1	2	3	3	3	3	1	0
ii がん対策情報センター相談支援センター相談員基礎研修会(1)、(2)の修了者で、熊本県がん診療連携協議会相談支援・情報連携部会が主催する熊本県がん相談員研修会又は九州各県がん診療連携協議会等が主催する地域相談支援フォーラムのうち2回の研修を受講、修了した者	K	2	0	4	1	1	0	1	1	0	0	1	4
熊本県がん相談員研修会の修了者数	－	4	3	4	1	2	2	6	1	1	2	1	3
地域相談支援フォーラムの修了者数	－	1	1	4	0	1	1	2	0	1	1	1	0
ア 転院や退院調整の業務担当者とは別に、がん相談に専従(業務の80%以上)している相談支援センターの相談員数	－	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0
イ 相談支援センターに配置されている社会福祉士の専任の人数	－	0	2	2	1	2	1	1	0	0	1	1	1
ウ 相談支援センターに配置されている社会福祉士の専従の人数	－	1	0	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0
エ 相談支援センターに配置されている精神保健福祉士の専任の人数	－	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
オ 相談支援センターに配置されている精神保健福祉士の専従の人数	－	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
カ 相談支援センターに配置されている看護師の専任の人数	－	0	5	3	2	5	3	1	0	0	0	2	0
キ 相談支援センターに配置されている看護師の専従の人数	－	0	0	1	1	5	0	0	0	0	0	0	0
ク 国の標準プログラムに基づく研修を修了したピアサポーターによる相談支援を導入している。	－	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
② 院内及び地域の医療従事者の協力を得て、院内外のがん患者及びその家族並びに地域の住民及び医療機関等からの相談等に対応する体制を整備している。また、相談支援に十分な経験を持つがん患者団体との連携協力体制の構築に取り組んでいる。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
③ 相談支援について、都道府県協議会等の場での協議を行い、都道府県拠点病院、地域拠点病院、特定領域拠点病院、地域がん診療病院の間で情報共有や役割分担を含む協力体制の構築を行う体制を確保している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
④ 相談支援センターについて周知するための体制を整備している。	－	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ
ア 外来初診時等に主治医等から、がん患者及びその家族に対し、相談支援センターについて説明する等、診断初期の段階から相談支援センターの周知が図られる体制を整備している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
イ 地域の医療機関に対し、相談支援センターに関する広報を行っている。	J	はい	はい	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	はい
地域の医療機関からの相談依頼があった場合に受け入れ可能な体制を整備している。	L	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
相談支援センターに関する地域の医療機関向け情報についてHPに掲載している。	－	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい
⑤ 相談支援センターの業務内容について、相談者からフィードバックを得る体制を整備している。	L	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥ 患者からの相談に対し、必要に応じて院内の医療従事者が対応できるように、相談支援センターと院内の医療従事者が協働している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい

「要件」欄：J:必須、K:原則必須、L:望ましい、-:要件に該当なし、別紙及びその他について「O」:提出必要

項目	要件	熊本中央	熊本再春医療センター	熊本総合病院	国保水俣市立総合医療センター	天草地域医療センター	天草中央総合	熊本地域医療センター	くまもと森都総合病院	大船紅門病センター高野病院	山鹿市民医療センター	熊本南病院	阿蘇医療センター	
<相談支援センターの業務>														
ア がんの病態、標準的治療法等がん診療及びがんの予防・早期発見等に関する一般的な情報を提供している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
イ がんの予防やがん検診等に関する一般的な情報を提供している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
ウ 自施設で対応可能ながん種や治療法等の診療機能および連携する地域の医療機関に関する情報を提供している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
エ セカンドオピニオンの提示が可能な医師を紹介している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
オ がん患者の療養上の相談に対応している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
カ 就労に関する相談に対応している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
キ 就労に関する相談に関して産業保健等の分野との効果的な連携により提供している。	L	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
ク 地域の医療機関及び診療従事者等におけるがん医療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
ク アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談に対応している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
ケ HTLV-1関連疾患であるATLに関する医療相談に対応している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
コ 医療関係者と患者会等が共同で運営するサポートグループ活動や患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援をしている。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
カ 相談支援に携わる者に対する教育と支援サービス向上に向けた取組を行っている。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
シ その他相談支援に関する取組を行っている。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
ス がんゲノム医療に関する相談に対応している、または適切な機関を紹介している。	-	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	自施設で対応	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	自施設で対応	適切な機関へ紹介	自施設で対応	適切な機関へ紹介	自施設で対応	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介
セ 希少がんに関する相談に対応している、または適切な機関を紹介している。	-	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	自施設で対応	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介
ソ AYA世代にあるがん患者に対する治療支援や就業、就労支援に関する相談に対応している、または適切な機関を紹介している。	-	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	自施設で対応	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介
タ がん治療に伴う生体機能の影響や、生体機能の温存に関する相談に対応している、または適切な機関を紹介している。	-	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	自施設で対応	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介
チ その他自施設では対応が困難である相談支援に対応している、または適切な機関を紹介している。	-	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	自施設で対応	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介	適切な機関へ紹介
(2)院内がん登録														
① がん登録等の推進に関する法律(平成25年法律第111号)第44条第1項に基づき定められた、院内がん登録の実施に係る指針(平成27年厚生労働省告示第470号)に即して院内がん登録を実施している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
② 院内がん登録に係る業務に関する責任部署を明確している。	L	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	はい
当該病院の管理者又はこれに準ずる者を長とし、医師、看護師及び診療情報管理士等から構成される当該病院における院内がん登録の運用上の課題の評価及び活用に係る規定の策定等を行う機関を設置している。	L	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
③ 専任の院内がん登録の実務を担う者を1人以上配置している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
専任の院内がん登録の実務を担う者の数		2	1	2	1	3	1	1	4	2	2	2	1	1
当該実務担当者は、国立がん研究センターが主催する研修を受講している。	L	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ
うち研修を受講した者の数	-	2	1	1	1	3	1	2	4	2	2	1	0	0
うち中絶認定を受けている者の数	-	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
配置された者は、国立がん研究センターが示すがん登録に係るマニュアルに習熟している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
④ 院内がん登録の登録様式については、国立がん研究センターが提示する院内がん登録に係る標準様式に準拠している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
⑤ 適宜、登録対象者の生存の状況を確認している。	L	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい
⑥ 院内がん登録等を全国規模で収集し、当該情報を基にしたがん統計等の算出等を行うため、毎年、国立がん研究センターに情報提供している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
⑦ 院内がん登録を取り扱うに当たっては、情報セキュリティに関する基本的な方針を定めている。	L	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	はい
⑧ 院内がん登録を活用することにより、熊本県が実施する地域がん登録事業に積極的に協力し必要な情報を提供している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
(3)情報提供・普及啓発														
① 自施設で対応できるがんについて、提供可能な診療内容について病院ホームページ等でわかりやすく広報している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
がんゲノム医療やAYA世代にあるがん患者への治療・支援についても、自施設で提供している。	-	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
がんゲノム医療やAYA世代にあるがん患者への治療・支援について自施設で提供している場合、病院ホームページ等でわかりやすく広報している。	L	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
院内の見やすい場所に指定を受けている旨の掲示をする等、がん患者に対し必要な情報提供を行っている。	-	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい
② 院内がん登録数や各治療法について、がん種別件数について、ホームページ等での情報公開に努めている。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。	-	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
③ 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
患者・市民向け講演会の開催案内について、ホームページに掲載している。	-	いいえ	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ
④ がん教育について、当該医療機関における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として医療従事者を派遣し、がんに関する正しい知識の普及啓発に努めている。	L	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい
学校でのがん教育を実施するに当たっては、児童・生徒への十分な配慮を行っている。 ※ここで言う「学校でのがん教育」とは児童、生徒へのがん教育を指します。	-	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい
学校における児童、生徒へのがん教育に、当該医療機関の医師等の医療従事者を派遣した延べ回数(平成30年4月1日～平成31年3月31日)	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 臨床研究及び調査研究														
(1) 政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究への協力体制を整備している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
(2) 臨床研究等を行っている。	-	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	いいえ
臨床研究等を行っている場合は、次に掲げる事項を実施すること。 ※上段で「いいえ」の場合、「J」または「L」と読み替え、回答すること。 ① 治験を除く臨床研究を行うに当たっては、臨床研究法(平成29年法律第16号)に則った体制を整備している。	J	はい	はい	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい
② 進行中の臨床研究(治験を除く。以下同じ。)の概要及び過去の臨床研究の成果を広報している。	J	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	はい	はい	はい	いいえ	はい	いいえ	いいえ
進行中の治験を除く臨床研究の概要及び過去の治験を除く臨床研究の成果について、ホームページに掲載している。	-	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
③ 参加中の治験について、その対象であるがんの種類及び薬剤名等を広報している。	L	いいえ	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
③ 臨床研究コーディネーター(CRC)を配置している。	L	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	はい	はい	はい	いいえ	はい	いいえ	はい
④ 患者に対して治験も含めた臨床研究、先進医療、患者申出商売等に関する適切な情報提供を行うとともに、必要に応じて適切な医療機関を紹介している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
6 PDCAサイクルの確保														
(1) 自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、がん患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じている。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
医療安全、ガバナンス、緩和ケアの質、倫理の実践、教育研修等に関して第三者による評価を行っている。	-	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい
上記で「はい」とした場合、第三者評価について選択すること。	-	病院機能評価	病院機能評価	病院機能評価	病院機能評価	病院機能評価	病院機能評価	病院機能評価	病院機能評価	病院機能評価	病院機能評価	病院機能評価	病院機能評価	病院機能評価
その他とした場合場合、第三者機関について記載すること。	-	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
医療安全、ガバナンス、緩和ケアの質、倫理の実践、教育研修等に関して拠点病院間の実地調査等を用いている。	-	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
その他、PDCAサイクルの確保に関する取組を実施している場合、記載すること。 (例:都道府県内の拠点病院関係者が参加する事例検討会を実施している。等)	-	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
(2) これらの実施状況につきがん診療連携協議会を中心に県内のがん診療拠点病院において、情報共有を行うとともに、地域に対してわかりやすく広報している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
実施状況についてホームページに掲載している。	-	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
7 医療に係る安全管理														
(1) 組織上明確に位置づけられた医療に係る安全管理を行う部門(以下「医療安全管理部門」という。)を設置し、病院一体として医療安全対策を講じている。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
当該部門の長として常勤の医師を配置している。	L	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
(2) 医療に係る安全管理を行う者(以下「医療安全管理者」という。)として(1)に規定する医師に加え、専任で常勤の薬剤師及び専任で常勤の看護師を配置している。	L	いいえ	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい
(3) 医療安全管理者は、医療安全対策に係る研修を受講している。	L	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
(4) 医療に係る安全管理の体制及び取り組み状況について、第三者による評価や拠点病院間での実地調査等を活用している。	L	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい
(5) 当該施設で未承認新規医薬品の使用や承認薬の適応外使用や高難度新規医療技術を用いた医療の提供を実施している。	-	いいえ	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
当該施設で未承認新規医薬品の使用や承認薬の適応外使用や高難度新規医療技術を用いた医療の提供を実施する場合は、以下の体制を整備すること。 ① 当該医療の適応の安全性や妥当性、倫理性について検討するための組織(倫理審査委員会、薬事委員会等)を設置し、病院として事前に検討を行っている。	L	いいえ	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい
② 事前検討を行い、承認された医療を提供する際には、患者・家族に対し適切な説明を行い、書面での同意を得た上で提供している。	L	はい	いいえ	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	いいえ	はい	いいえ	はい
③ 提供した医療について、事後評価を行っている。	L	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	はい	はい	いいえ	はい	いいえ	はい
(6) 医療安全のための患者窓口を設置し、患者からの苦情や相談に応じられる体制を確保している。	J	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい